

2013 年 12 月 2 日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 米田 久美子

カンボジア国 国道 5 号線（中央区間）改修事業追加区間（スリ・ソポン - ポイペト）
（協力準備調査（有償））
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2013 年 11 月 8 日（金）14:04～16:43
- ・場所：JICA 本部（会議室：1 階 111 会議室）
- ・ワーキンググループ委員：岡山委員、谷本委員、二宮委員、米田委員
- ・議題：カンボジア国国道 5 号線（中央区間）改修事業追加区間 協力準備調査に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：カンボジア国国道 5 号線（中央区間）改修事業追加区間 協力準備調査 スコーピング案事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月）

全体会合（第 42 回委員会）

- ・日時：2013 年 12 月 2 日（月）14:31～18:38
- ・場所：JICA 本部（会議室：113 会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体

1. 歩行者（家畜を含む）の安全性の向上に関しては、道路機能の最適化を確保するとともに、本事業の政府関係機関及び周辺住民に対する適切な啓蒙活動の実施について実施機関に提案すること。

代替案の検討

2. 代替案を比較する際には、各案の交通容量や将来の交通需要予測等の値を用いて有利点、不利点ができるだけ明確になるよう記述すること。

スコーピングマトリックス

3. 本事業対象地の南側にある Wildlife Sanctuary の主な保護対象種を把握し、本事業の影響を調べ、記述すること。

環境配慮

4. 本事業の実施により将来懸念される道路上および周辺へのごみ投棄問題について、ステークホルダー協議などを通じて、マナー啓蒙や問題への対応の必要性を実施機関に提案すること。

社会配慮

5. 現在および将来的な交通量を鑑みて、交通弱者（歩行者、自転車）の安全確保について最大限の対応策を講じること。

ステークホルダー協議・情報公開

6. 今後のステークホルダー協議開催にあたっては、参加者の半数程度が女性となるように参加を働きかけること。

以 上